

2値化

濃淡のある画像を白と黒の2階調に変換する処理。ある閾（しきい）値を定めて、各画素の値が閾値を上回っていれば白（または黒）、下回っていれば黒（または白）に置き換える。画像を2値化することで、画像からの検出対象の抽出が容易になり、判定処理なども高速に実行できる。

横架材

柱などの垂直な部材に対して直角に渡す部材のこと。梁や桁など。

乾燥スケジュール

木材を少ない欠点で、かつ効率的に乾燥するため、温度、湿度を変化させる予定表。樹種、材の厚さ、材種などによって異なる。

基準強度

木材の繊維方向の許容応力度を決めるために必要で、木材の種類及び品質に応じて圧縮、引張り、曲げ、せん断に対する数値がある。建築基準法施行令第89条第1項の規定に基づき、平成12年5月31日建設省告示第1452号（最終改正：令和2年8月28日国土交通省告示第821号）で定めた強度。

木取り

曲がり、断面形状、節、割れなど、丸太の形状や欠点を考慮して、製材品の種類や寸法、鋸を入れる位置を決定し製材を行うこと。

強度

木材の強度特性の1つ。物体に力が働き破壊したときの単位面積あたりの力のこと。例えば、曲げ強度、圧縮強度、引張り強度、せん断強度などがある。

材せい

梁せいともいう。梁の下面から上面までの長さ。

残留応力

外部より力が作用していない状態で、樹木（木材）の内部に残っている応力。

樹心

樹幹の芯。髓。

髓

樹幹の中心にある組織。樹心。

成熟材

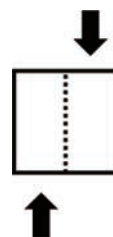
成熟期の形成層によって形成された木部。一般に、樹木の中で、繊維長が長く、ヤング係数が高い、材質が安定した材部。

成長応力

樹木の成長過程において、樹幹の肥大成長にともない内部に生じる応力。

せん断

ハサミなどを使って挟み切るように物体の内部のある面に沿って両側部分を互いにずれさせるような作用。



縦振動法

木口の一方をハンマーなどで叩いて衝撃波（応力波）を発生させ、材の長さ方向に伝播する時間や他端での固有振動数を測ることで、ヤング係数などを求める方法。

ディープラーニング

人間の力なしにコンピュータが自動的に大量のデータからそのデータの特徴を発見する技術。機械学習法の1種。

等級区分

節、繊維傾斜、割れなどの大きさ、またはヤング係数に基づき等級を付けて区分すること。前者は目視等級区分、後者は機械等級区分と呼ばれる。

平角

断面が長方形で、短辺が7.5cm以上の製材品。主に、木造住宅の梁や桁に用いられる。

未成熟材

未成熟期の形成層によって形成された木部。一般に、樹木の中で、繊維長が短く、ヤング係数が低い。

木部

木材の組織のうち、道管、仮道管、木部柔組織、木部繊維など、幹および根の強度保持や水分通導を担う部分。いわゆる、木材の部分。

ヤング係数

木材の強度特性の1つ。力とひずみの関係から求められ、変形しやすさ（変形しにくさ）を示す。ヤング係数が大きいほど変形しにくい。応力－ひずみ曲線の直線域における勾配。

ラミナ

集成材やCLT（Cross Laminated Timber）を構成する挽き板の総称。一枚の挽き板である場合と、挽き板を縦継ぎするなどして一定の長さ及び幅に集成接着した板の場合がある。

枠組壁工法用部材

日本農林規格「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」で規定された枠組壁工法（2×4工法）で使われる部材。断面寸法の例を挙げる。

寸法型式	乾燥材の規定寸法	
	厚さ	幅
204	38	89
206	38	140
208	38	184
210	38	235